

# 台風の子どもたち

日本では秋になると、毎年のように台風が猛威を振るい、甚大な被害をもたらします。小学生のときは、暴風警報で臨時休校になるかどうかで一喜一憂していましたが、今はもう大学生。臨時休講の先に待っているのは、長期休みに食い込む補講だけです。

昨年もたくさんの大きな台風が各地で猛威を振りましたね。昨年10月に日本に上陸した台風19号は、別名「ハギビス (Hagibis)」と呼ばれていました。梅雨を過ぎれば、台風が日本に近づいてくることも増えます。昔からたくさんのイベントを台風につぶされている編集部員が、台風の別名について調べてみました。

## ☁️ 台風の番号のつけ方と命名の方法

台風の番号はよく知られているように、1月1日以降最も早く発生した台風を第1号として、その後は台風の発生順に番号を付けます。

命名については、従来アメリカが英語名(人名)をつけていました。日本を含む14カ国が加盟する台風委員会が設立され、2000年以降は加盟国が提案したアジア名(今年の台風19号で言えば「ハギビス (Hagibis)」)をつけています。この加盟国が提案した名前は140個に上り、日本が提案したものもいくつか含まれています。

台風の名前は、この140個のリストの1番目から順番に付けられます。台風は1年間に平均で25.6個発生しているため、およそ6年間で名前が一巡して再び1番目に戻ります。

## ☁️/🌀 台風とサイクロン、ハリケーンとの違い

台風とタイフーン、またハリケーンやサイクロンはすべて熱帯低気圧です。呼び方の違いは右下の表のように、発生場所とその最大風速によります。



	発生場所	最大風速
台風	北西太平洋	17.2m/s~
タイフーン		
ハリケーン	北大西洋 北東太平洋	32.7m/s~
サイクロン	インド洋	

## ☂ 台風の名前の引退制度

台風が甚大な被害をもたらした場合、資料作成・法律問題・保険請求などに関連して、その台風に言及する場面がたくさん生まれます。このようなことがあった後に新たに同じ名前を命名すると、混同が生じて混乱を招くことになってしまいます。こういった状況を避けるため、台風の名前の引退制度が用意されており、台風の被害を受けた国は、世界気象機関に対して名前の引退についての要望を出すことができます。

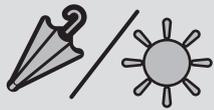
## 🌀 日本が提案した名前

日本が台風委員会に提案した名前を下表にまとめました。左の列の番号は、台風委員会が定めた140個の名称の通し番号です。

日本が提案した名前は、天気と関係することから、いずれも星座から採用されています。

1つの番号に複数の名称がつけられているもの（テンビンとコイヌなど）は、上記の引退制度により、引退した名称です。

番号	名称	台風番号	発生日	備考
5	テンビン	2000年 5号	2000.7.19	
		2005年 22号	2005.11.10	
		2012年 14号	2012.8.9	
	コイヌ	2017年 27号	2017.12.21	引退 まだ命名例がない
19	ヤギ	2000年 19号	2000.10.22	
		2006年 14号	2006.9.17	
		2013年 3号	2013.6.8	
		2018年 14号	2018.8.7	
33	ウサギ	2001年 10号	2001.8.10	
		2007年 5号	2007.7.29	
		2013年 19号	2013.9.17	
47	カジキ	2018年 29号	2018.11.22	
		2001年 24号	2001.12.5	
		2007年 19号	2007.10.19	
		2014年 2号	2014.1.29	
61	カンムリ	2019年 14号	2019.9.3	
		2002年 12号	2002.8.3	
		2008年 9号	2008.8.5	
75	クジラ	2014年 17号	2014.9.24	
		2003年 2号	2003.4.11	
		2009年 1号	2009.5.3	
89	コップ	2015年 8号	2015.6.21	
		2003年 16号	2003.9.26	
		2009年 15号	2009.9.13	
	コグマ	2015年 24号	2015.10.13	引退 まだ命名例がない
103	コンパス	2004年 9号	2004.7.14	
		2010年 7号	2010.8.29	
		2016年 11号	2016.8.20	
117	トカゲ	2004年 23号	2004.10.13	
		2011年 7号	2011.7.15	
		2015年 25号	2016.11.25	
131	ワシ	2005年 8号	2005.7.29	
		2011年 21号	2011.12.15	引退
	ハト	2017年 13号	2017.8.20	引退 まだ命名例がない
	ヤマネコ			まだ命名例がない



# 勝手に台風の名前ランキング

※名前の後の括弧内は名前の意味です。



**バビンカ（プリン）**

**提案国：マカオ**

なぜ？ どうして？ なにゆえ？

キュートでキャッチーな見た目。口に含むと広がるカラメルの香ばしさ。舌を包みこむなめらかな食感。嚙下後にも幸福を残し続けるバニラ。こんなプリンの名を、どれだけの思考を経て、どれだけの意見が衝突して、どれだけの妥協があって、台風につけることになったのか。私には極東の地で想像の翼をはばかせ、頭に大きなクエスチョンマークを浮かべることしかできません。



**ナンカー（果物の名前）**

**提案国：マレーシア**

「明日ナンカー来るんやって」

「え？ 何が来んの？」

「ナンカーやって」

「なんかってなんやねん」

「台風や」

「はぁ？ 最初からそう言えよ」

この名称が使われ始めると、関西でこんな会話が繰り返されそうですね。



**フォンフォン（山の名前）**

**提案国：香港**

**ファンフォン（動物）**

**提案国：ラオス**

**ヴォンフォン（スズメバチ）**

**提案国：マカオ**

この酷似している3つの名前は、ただ単に区別が著しく困難だけでなく、番号もほとんど連続してしまっています。フォンフォンが60番、ファンフォンが62番、ヴォンフォンが63番と、61番にカンムリが挟まりますが、ほとんど連続してこれらの名前が命名されることになります。

「昨日発生したヴォンフォンは非常に強い勢力のまま一昨日発生したファンフォンに接近しており、先日列島を襲ったフォンフォンを超える被害をもたらす可能性があります。ファンフォンが近づいている地域はフォンフォンの被害の復旧が間に合っていない地域も多く、ヴォンフォンによってさらなる追い打ちをかけられることになりかねません。ヴォンフォンの勢力はファンフォンよりもフォンフォンに近く、ヴォンフォンの対策は、フォンフォンの反省を生かしつつ、ファンフォンの被害も考慮し、ヴォンフォンの最新情報に注視しながら考えていきたいところです。」

なんていうニュースが流れる日が来るかもしれません。



**ヒンナムノー  
（国立保護区の名前）**

**提案国：ラオス**

国立保護区、瓦礫まみれになってますけど大丈夫なんですか？ 海の彼方へ流れちゃってますけど大丈夫なんですか？



**ネサット（漁師）**

**提案国：カンボジア**

海面を這う台風が水を巻き上げ、魚が宙を舞い、次々と捕獲されていく光景がありありと目の前に映し出されます。この短い名前が台風の動きを明瞭に描き出したカンボジアにはあっぱれという他ありません。カンボジア先生の次回作への期待が高まりますね。